

統合医療で がんに克つ

vol.133
抜刷版

特別
インタビュー

医療法人篠田好生会 天童温泉篠田病院
大田政廣 病院長に訊く

取材・構成 吉田繁光 本誌発行人



大田政廣 病院長

私のがん治療

がんが正常細胞より熱に弱いことはよく知られていて、この性質を利用した療法がハイパーサーミアです

一般医療と予防医療、老人医療を融合させた内容でこれからの時代にも対応できる

——まず、先生のご経歴からお話してください。

大田 昭和44年に新潟大学医学部を卒業し、同大学第1外科に入局。

昭和53年に第1外科助手となり、

昭和56年に山形大学医学部第2外

科に講師として赴任し、昭和61年

に助教教授になりました。その後、

2つの民間総合病院でそれぞれの

副院長・院長を経験して、平成7

年に天童温泉篠田病院の副院長と

なり、現在は院長をしております。

——貴院の概要を簡単にお話しく

ださい。

大田 医師、看護師、事務などを

含めて、総勢約120名の態勢で

運営しています。一般病棟60床と

人間ドック4床の他に認知症治療

病棟が60床あり、一般医療と予防

医療、老人医療を融合させた内容

で、これからの時代にも対応でき

るように努めています。